

2023

1月20日

Vol. 17

発行

たいゆり広報・企画委員会
(事務局: 太平百合が原まちづくりセンター)

太平8条7丁目

☎771-9180

たいゆり 生き活き通信

もくじ

特集 防火・防災特集

2P 地域住民と近い距離づくりを

札幌市 北消防署警防課

篠路出張所長 高橋宏さん

3P 自分たちのまちは自分たちで守る

札幌市北消防団上篠路分団

分団長 上杉武義さん

暮らしの火の用心協力隊

アカツキ交通

4P 「太平百合が原地区防災訓練」に参加して

太平南小・太平中学校 PTA 役員

高井さん、長瀬さん、渡邊さん



▲東京在住の版画家、大野隆司さんの作品

特集 防火・防災特集

「防災とボランティア週間」というのを聞いたことはありますか？阪神淡路大震災を機に、国民が災害におけるボランティア活動や自主的な防災活動についての認識を深める目的で設けられた週間で、毎年1月15日～21日の期間中、全国的に防災活動普及の講習会などを行っています。

今回の特集は防火・防災について。寒さの厳しい冬期間、札幌市で大震災などが起きた場合、多くの人々が数時間以内に命を落とすことが予想されます。もしもの時に、自分や家族の命を守り、隣近所の人たちと助け合い、生き抜くにはどうしたら良いのか。有事の際、あなたはどのように行動するか考えていますか？

日頃から防火・防災についての意識を高め、活動している方々にお話を伺いました。



地域住民と近い距離づくりを

札幌市 北消防署警防課 篠路出張所 **高橋宏 所長**



▲高橋宏所長

札幌市北消防署警防課篠路出張所の高橋宏所長(52)は、27年間消防の現場で活躍しています。過去には有珠山噴火に対する対策、東日本大震災の救助活動、洞爺湖サミットの警備などを行ってきました。また、政令指定都市にしか設置されていない「特別高度救助隊」に3年間所属したこともあり、平成30年に発生した胆振東部地震では航空隊として活躍したスペシャリストです。

学生時代はずっと野球とラグビーに明け暮れ、今もマラソンが趣味。札幌マラソンにも出場し、52歳の今も若者に負けない体力づくりを行っています。

そんな所長が今年4月に着任した篠路出張所は、篠路、太平、百合が原、茨戸と広範囲の管轄。「自然環境が豊かで子どもから高齢者まで生活している」というのがこの地域の印象でした。出張所が人通りの多い場所にあるため、「消防車を見せてほしい」と訪ねてくる子ども連れの家族などもあるので、快く対応しています。「消防が身近な存在に感じられるよう、親しみやすい雰囲気づくりをしたい」と話す所長。

地元住民への活動としては、各町内会が行う防災訓練の指導や、小学3年生の社会科の体験授業で、防火防災の基礎や命の大切さを教える「教えて!ファイヤーマン」を行っています。

所長は「この『教えて!ファイヤーマン』の授業を通じ、子どもたちに命の尊さ、仲間を大切にする心を伝え、『消防』という職業の魅力を伝えていきたい」と話してくれました。

さらに、冬の防火、防災対策については、「神棚・仏壇のろうそくの火の消し忘れには特に注意して

ださい」「使用前のストーブの清掃・点検も忘れずに行ってください」とのメッセージも。冬の除雪作業は大変ですが、篠路出張所管内には600基の消火栓があり、大雪の時など、消防職員や消防団員だけではなくすべての消火栓を除雪するのに時間がかかることもあります。

「冬場の火災に備え、地域の皆様に消火栓の除雪についてご協力をお願いします」と呼び掛けています。

今後も篠路出張所では、地域の皆さんに向けて、防火・防災に関して広報活動や防災訓練などに出向き、顔の見える近い関係を築いていきたいということです。



▲署員たちの普段の訓練の様子



▲防災訓練で講話する高橋所長

インタビュー2

自分たちのまちは自分たちで守る

札幌市北消防団 上篠路分団 上杉 武義 分団長



▲上杉武義分団長(58)

消防団員は消防署員とは違い、それぞれが別の職業を持ちながら有事の際に消防活動をする非常勤の地方公務員。北区には11分団があり、上篠路分団には20～70代まで23名が所属。うち女性も5名います。内容は火事などの災害出動、北消防団全体で行う「消防総合訓練大会」や消火栓の雪かき



▲防災訓練で説明する消防団員

など、年間を通して様々な活動にいそしんでいます。

上杉分団長は父親の代から消防団に関わり、郷土愛と奉仕の精神を父親から学んで自然に入団しました。「防災リーダーとして自分たちの手で地域を守りたい。皆仕事もあるので、出来る範囲で出来る人が行っている」と話します。

団員の高齢化が進む中、消防団の課題は、有事の際にまちを守る人員を増やすこと。

消防団の入団資格は18歳以上の男女で採用される消防団の区域に居住、勤務、通学している方が対象です。あなたも一緒に参加してみませんか？お問い合わせはこちらまで。

消防団のお問合せ **737-2100**
(北消防署予防課 庶務係)

インタビュー3

暮らしの火の用心協力隊プロジェクトに
加盟する企業

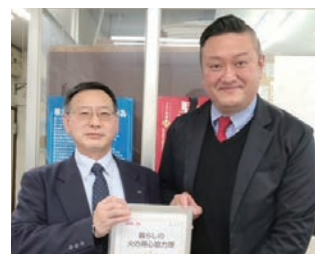
アカツキ交通

札幌市消防局では平成28年度から官民一体の取り組みとして「暮らしの火の用心協力隊」プロジェクトをスタートさせました。これは、企業が社会貢献活動の一環として市民への火災予防広報活動を行い、市民の安全で安心な暮らしを守ることを目的としているもの。

札幌市内では23企業4団体が同協力隊に登録



▲消防団員募集のラッピングカー



▲藤江仲浩営業部長と春原啓慶常務

しており、太平百合が原地域ではタクシー会社のアカツキ交通が平成29年から活動しています。所有するタクシー60台に防火ポスターを掲示したり、乗客へ防火チラシの入ったティッシュを配るなどを行っています。アカツキ交通では、このほか令和2年に北消防団の依頼により、ラッピングカーを作製。こうした広告車は通常宣伝費がかかるものですが、無料で協力。「消防団に興味を持ってもらえるよう、地域貢献したい」と話しています。

こうして消防ボランティアに積極的に協力する企業が、私たちの身近に存在しています。

タクシーのご用命は **771-6000**

インタビュー4

「太平百合が原地区防災訓練」に参加して

PTA 役員 **渡邊さん**(太平中)、**長瀬さん**(太平南小)、**高井さん**(太平南小)

11月11日、太平百合が原地区まちづくり協議会主催の防災訓練が太平小学校体育館で行われました。

今回の訓練では【冬季の札幌で震度7の地震が発生】し、太平小学校が避難所として開設されたところからスタート。参加者は2グループに分かれ、交互に避難所運営役と避難者役を体験しました。

避難者からは「ペットと一緒に避難してきた」「家族に介助が必要」などの課題が提起され、避難住民のニーズやトラブルの対応方法を学びました。インタビューを受けてくれたのは、渡邊さん、長瀬さん、高井さん。「いろいろなパターンに応じた対応をしたが、いざとなれば冷静に動けるかわからない」「知らないことだらけだったので、一度でも訓練を経験しておくでと心構えができるので安心できる」といった感想が得られました。



▲(左から)渡邊さん(太平中)、長瀬さん、高井さん(両太平南小)

また「いざという時に動けるのは若手の人たち。30～40代など若い人向けに土日に開催したり、訓練の大切さを多くの人に伝えるのが必要」という意見も出ました。

まだまだ防災意識の向上が必要ですが、有事の際には隣近所で助け合える「共助」の精神が大切ですね。



▲防災訓練の様子

3歳～小学生のこどものための食育スクール

青空キッチン

ROZORA KITCHEN

体験レッスン予約受付中

青空キッチンに通うと
こんないいことがあるよ

- 楽しく調理技術が学べる
- 栄養バランスや安全性など食選力が身に付く
- 自分の体や食に関する知識が高まる

体験レッスン代2000円+材料費
当日入会を決めてくれた方には
レッスン代2000円
キャッシュバック

月謝制	月2回コース	月3回コース	レッスンごとに材料費
幼児クラス	4300円	5300円	330円
小学生低学年クラス	4800円	5300円	440円
小学生高学年クラス	5400円	6000円	500円

QRコード

「地域見守り隊」あんぜん・あんしんパトロール運動に参加しています。



車いす介助ケア快速輸送
観光ハイヤー 商用貸切

アカツキ交通株式会社

札幌市北区百合が原4丁目10番8号

なないろむせん

タクシーのご用命は **771-6000**

☎ **011-771-2631**

お得なシニア割引も

65歳以上の方に限り
1回の乗車料金の10%を割引

乗務員募集中!
771-2632まで

ツルハドラッグ百合が原店隣



やちだ歯科クリニック

診療科目 歯科、小児歯科、歯科口腔外科、矯正歯科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
10:00～13:00	△	○	○	○	○	○	△
14:30～19:30	△	○	○	○	○	△	△

△ : 14:00～18:00

〒002-8081
札幌市北区百合が原
9丁目14番2号

☎ **011-299-5838**
<http://yachida-dental.com/>

